

令和7年度教職員の業務改善に関する意識調査の結果について

1 調査目的

令和6年3月に改訂された「教職員の業務改善のための取組」に基づいた取組について、教職員の取組状況を把握し、一層の推進を図る。

2 調査期間

令和7年12月22日（月）～令和8年1月16日（金）

3 調査対象

各市立幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校のフルタイム勤務の全教職員

4 調査回答数（回答率）

回答数／対象者（回答率）

（単位：人）

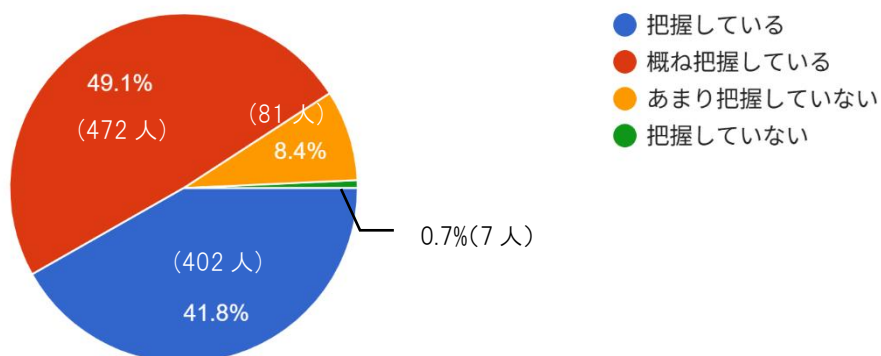
	管理職 (校長・教頭)	一般教諭	事務職員	計
小学校	70／76 (92.1%)	521／633 (82.3%)	33／40 (82.5%)	624／749 (83.3%)
中学校	31／35 (88.6%)	247／345 (71.6%)	16／19 (84.2%)	294／399 (73.7%)
その他	7／7 (100%)	32／65 (49.2%)	5／7 (71.4%)	44／79 (55.7%)
計	108／118 (91.5%)	800／1043 (76.7%)	54／66 (81.8%)	962／1227 (78.4%)

※鱒川小学校・鱒川中学校については、学校長がそれぞれに回答

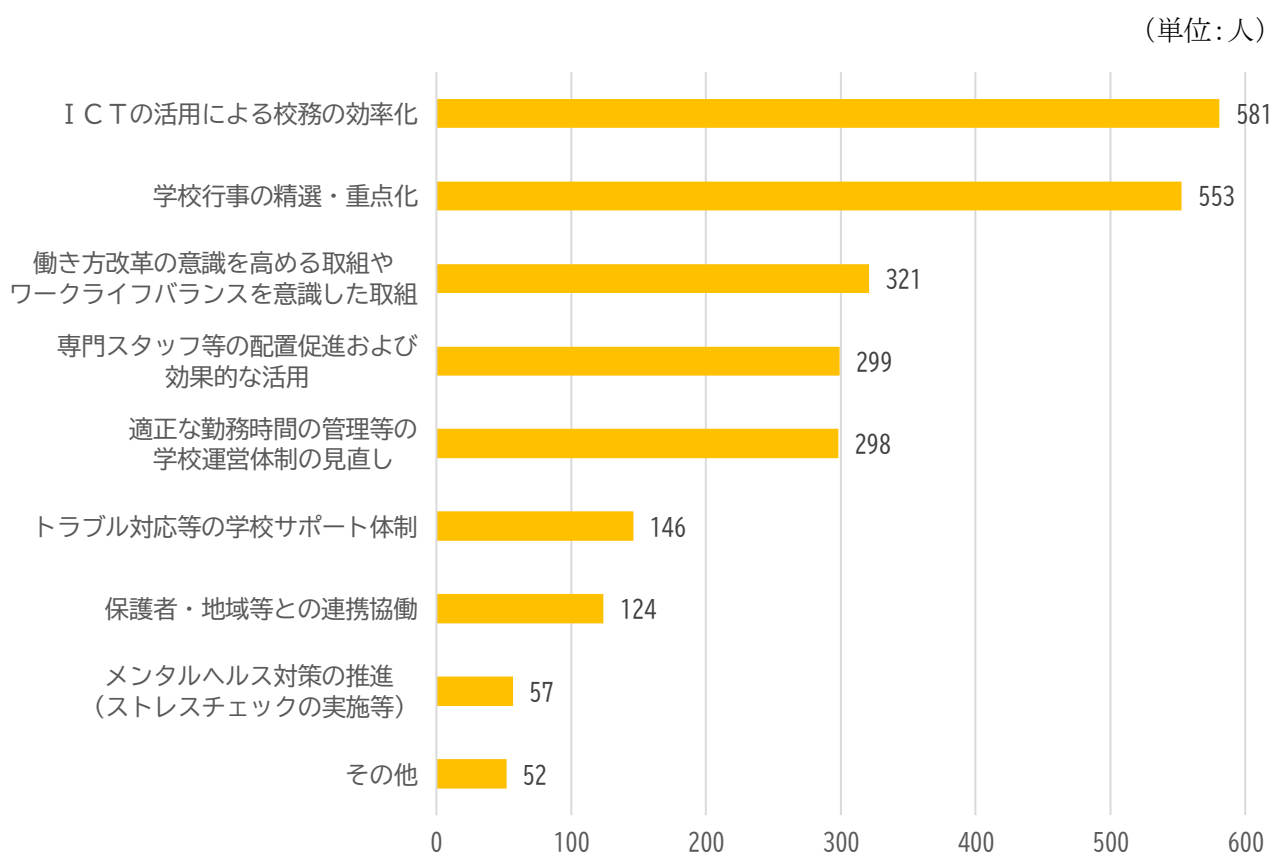
※その他：義務教育学校，高等学校，幼稚園

5 調査内容・結果

(1) 自分の時間外在校等時間の把握状況を教えてください。



(2) 業務改善の取組として、効果が表れていると感じる取組を選んでください。(複数回答可)



(3) 業務改善の取組として、難しいと感じる取組やその理由があれば記入してください。

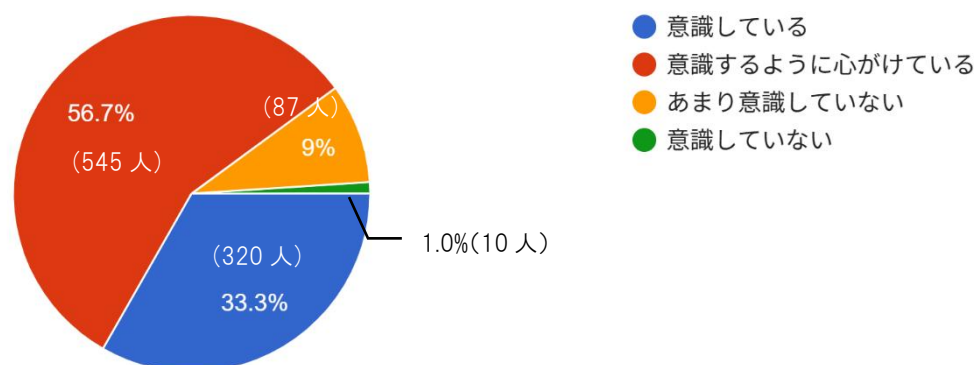
392 件の回答

<主な回答>

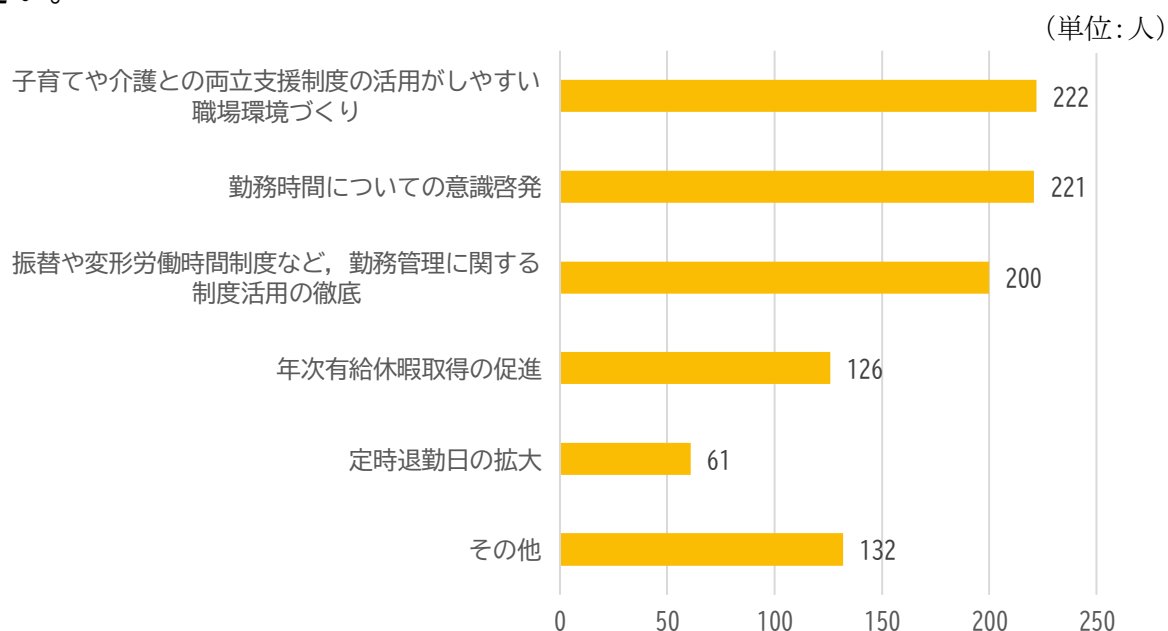
- ・ 人員が不足しているため、一人あたりの負担が大きい。
- ・ 保護者と連絡が取れるのが勤務時間外のことが多いため、改善が難しい。
- ・ 特定の職員の仕事量が多く、業務量のバランスに偏りがある。
- ・ I C T を活用できるようになるまでに時間がかかってしまう。
- ・ 業務量が多く、授業後数時間で仕事を終わらせるのは難しい。
- ・ 部活動が平日休日ともに勤務時間外までの活動となってしまうため。
- ・ 急に生徒指導が必要となると勤務時間内では対応できない。

など

(4) 仕事と生活のワークライフバランスの意識について該当するものを選んでください。



(5) ワークライフバランスを意識した働き方のために最も必要だと感じることを選んでください。



(6) 仕事に対して働きがい（充実感・満足感・意欲等）を感じていますか。

